

このたびは、車載用リモートミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

目次

安全上のご注意	2~4
免責事項について	4
本機を長期間お使いの場合	4
各部の名称と説明	5
前/後アンプ電源スイッチの説明	6
プラグの接続について	7
マイク3/ライン切換スイッチについて	7
マイクロホンの上手な使い方	7
ミキサーアンプNX-9500に本機を増設する場合	8
取付方法	8
相互接続図(例)	9、10
携帯電話の使用について	11
定格	11
外観寸法図	11

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源の接続をはずして、販売店などにご連絡ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。



配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



車体の重要保安部品に取付けられているボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。



運転中に複雑な操作はしない
交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない
運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない
車体に穴をあけるとときパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



高温部に設置しない
エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない
雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない
ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



正しく配線する
取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



取付はしっかり固定する

落下して、交通事故やけがの原因となります。



オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

●本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

- ・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ①煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②接続コード・コネクタが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明

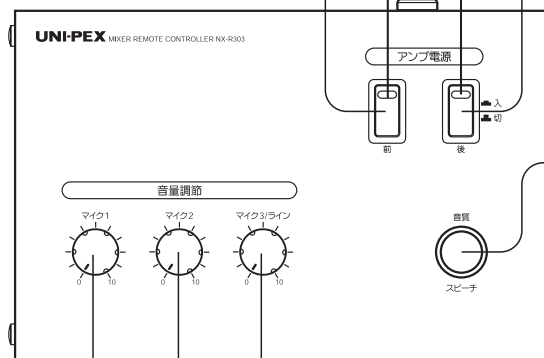
(上面)

前アンプ電源表示灯(緑)
前アンプ電源スイッチを押すと点灯します。

前アンプ電源スイッチ
押すと電力アンプの前アンプ電源表示灯が点灯し、電力アンプの前アンプスピーカー接続コネクタに接続されたスピーカーが動作します。

後アンプ電源表示灯(緑)
後アンプ電源スイッチを押すと点灯します。

後アンプ電源スイッチ
押すと電力アンプの後アンプ電源表示灯が点灯し、電力アンプの後アンプスピーカー接続コネクタに接続されたスピーカーが動作します。



音質調節スイッチ (スピーチ)
押すと高音及び低音が減衰され、アナウンスに最適な明瞭度の高い音質になり、ハウリングも減少させることができます。

マイク1音量調節つまみ

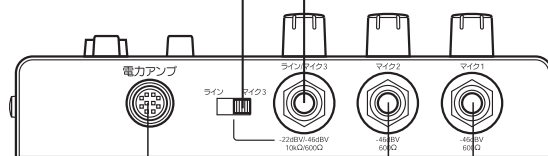
マイク2音量調節つまみ

マイク3/ライン音量調節つまみ

(後面)

マイク3/ライン切換スイッチ
マイク3/ライン入力ジャックの入力レベルを接続する機器により切り換えてください。詳しくは7頁「マイク3/ライン切換スイッチについて」をご覧ください。

マイク3/ライン入力ジャック
(-22dBV、10k Ω / -46dBV、600 Ω 、電子平衡)



電力アンプ接続コネクタ
別売のミキサー接続コードLB-710を使用し、電力アンプNB-3002D、1502Dのミキサーアンプ接続コネクタに接続します。また本機を増設用として使用する場合はNX-9500のミキサーアンプ接続コネクタに接続します。

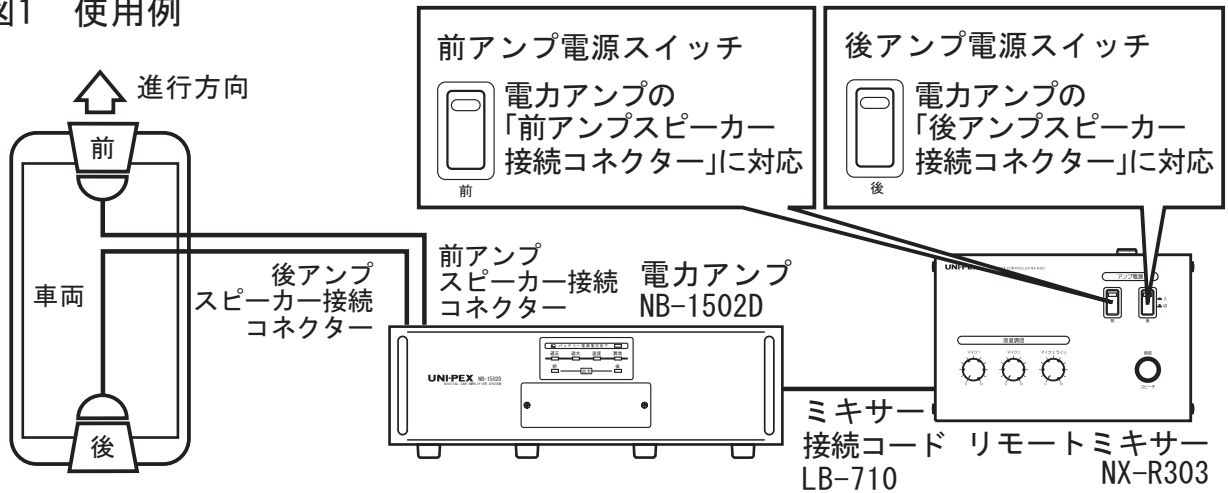
マイク1入力ジャック
(-46dBV、600 Ω 、電子平衡)

マイク2入力ジャック
(-46dBV、600 Ω 、電子平衡)

前/後アンプ電源スイッチの説明

- 前アンプ電源スイッチは電力アンプの前アンプスピーカー接続コネクタに、後アンプ電源スイッチは後アンプスピーカー接続コネクタにそれぞれ対応しています。

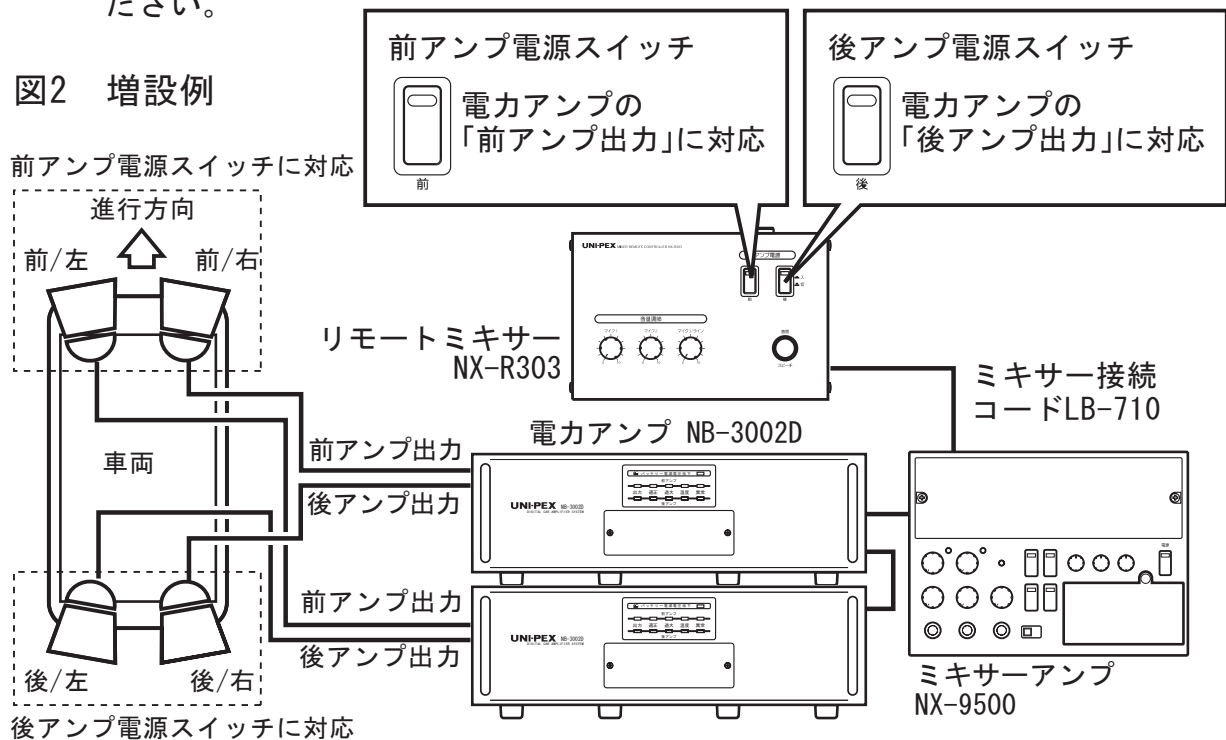
図1 使用例



NX-9500に増設する場合

- 本機の前アンプ電源スイッチはNX-9500の前/左と前/右スピーカー選択スイッチに対応する電力アンプの(前アンプ)出力に対応します。また後アンプ電源スイッチはNX-9500の後/左と後/右スピーカー選択スイッチに対応する電力アンプの(後アンプ)出力に対応します。
- 本機のアンプ電源スイッチとNX-9500の各スピーカー選択スイッチは「入」の操作が全て反映します。本機を単独で使用するときには、NX-9500のスピーカー選択スイッチを全て「切」にしてください。本機の増設について詳しくは8頁の説明をご覧ください。

図2 増設例

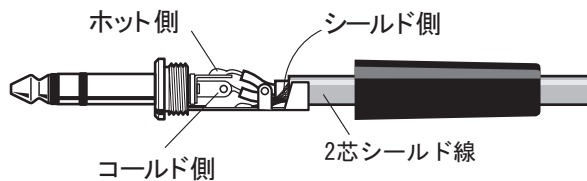


プラグの接続について

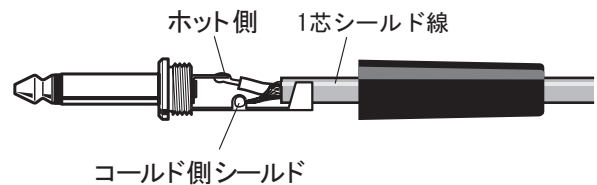
- ライン入力ジャックに外部接続機器を接続する場合は機器の出力方式を確認し、接続プラグを平衡、不平衡のいずれかで接続してください。ステレオ機器の場合はモノラルに切替えるか、L/R両チャンネルを並列に接続してください。(図3参照)

図 3 ■ マイク及びライン入力プラグ

- ・ 平衡入力(ステレオ入力ではありません)



- ・ 不平衡入力

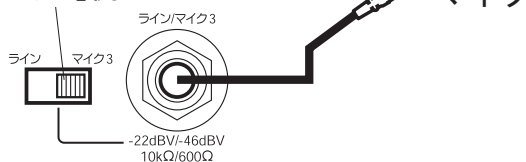


マイク3/ライン切替スイッチについて

- 本機のマイク3/ライン入力ジャックにマイクロホンが接続される場合はマイク3/ライン切替スイッチを「マイク3」側に切り換えてください。また、外部機器(各種プレーヤー)が接続される場合は「ライン」側に切り換えてください。(図4参照)
- 各々の音量は兼用のマイク3/ライン音量調節つまみで調節してください。

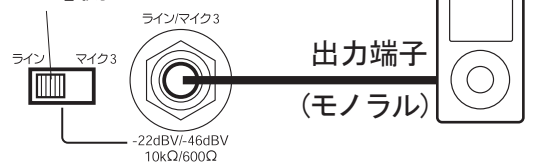
図 4 ■ マイクロホンが接続する場合

マイク3/ライン切替スイッチを「マイク3」側に



■ 外部機器が接続する場合

マイク3/ライン切替スイッチを「ライン」側に

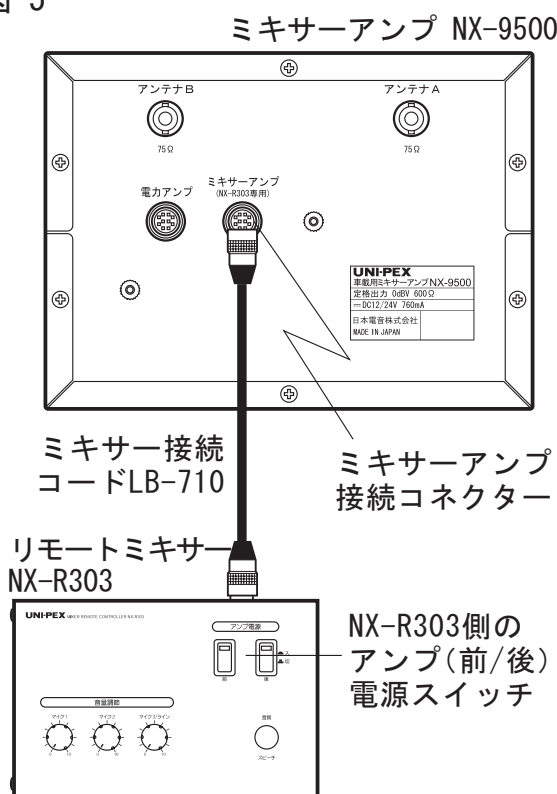


マイクロホンの上手な使い方

- マイクロホンを実用的に使うために、特に注意しなければならないのが、ハウリング(キーンと言う音)です。これは、スピーカーから出てきた音が、マイクロホンに戻り、音が循環することから起る現象です。これを防止するためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカーの位置に注意しながら設置することで、ハウリングの発生を避けることができます。
- マイクロホンを使用する場合は極端に口元に近づけたり離したりせずになるべく一定の距離で使用してください。この距離は2~5センチメートルぐらいが理想的です。また、マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。
- マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができせんので、正しくマイクの中央部をにぎってお使いください。

ミキサーアンプNX-9500に本機を増設する場合

図 5

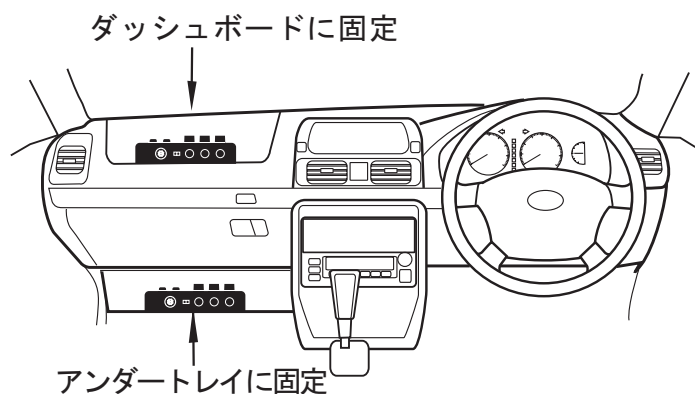


- マイクロホンがNX-9500と離れた場所で使用されるときやマイクの本数を増やしたい場合は本機を増設することができます。
- 本機を別売のミキサー接続コードLB-710でNX-9500のミキサーアンプ接続コネクタに接続してください。(図5参照)
- 本機側のアンプ電源スイッチで前スピーカーと後スピーカーの「入/切」を各々切り換えることができます。(NX-9500の電源「入」時のみ)
- 本機のアンプ電源スイッチとNX-9500の各スピーカー選択スイッチは「入」の操作が全て反映されます。
- 本機を単独で使用するときは、NX-9500の電源を必ず「入」にして、スピーカー選択スイッチを全て「切」にしてください。また本機を使用せずにNX-9500を使用するときは必ず、本機のアンプ電源スイッチを両方「切」の状態にしてください。
- 接続するミキサーアンプNX-9500の取扱説明書もよくお読みください。

取付方法

- 付属の両面テープで下図のように自動車のダッシュボードやアンダートレイに固定するか、座席などに置いてください。(図6参照)
- 注) 座席などに置いて使用される場合は、本機に接続されているコードが抜けないようにご注意ください。

図 6



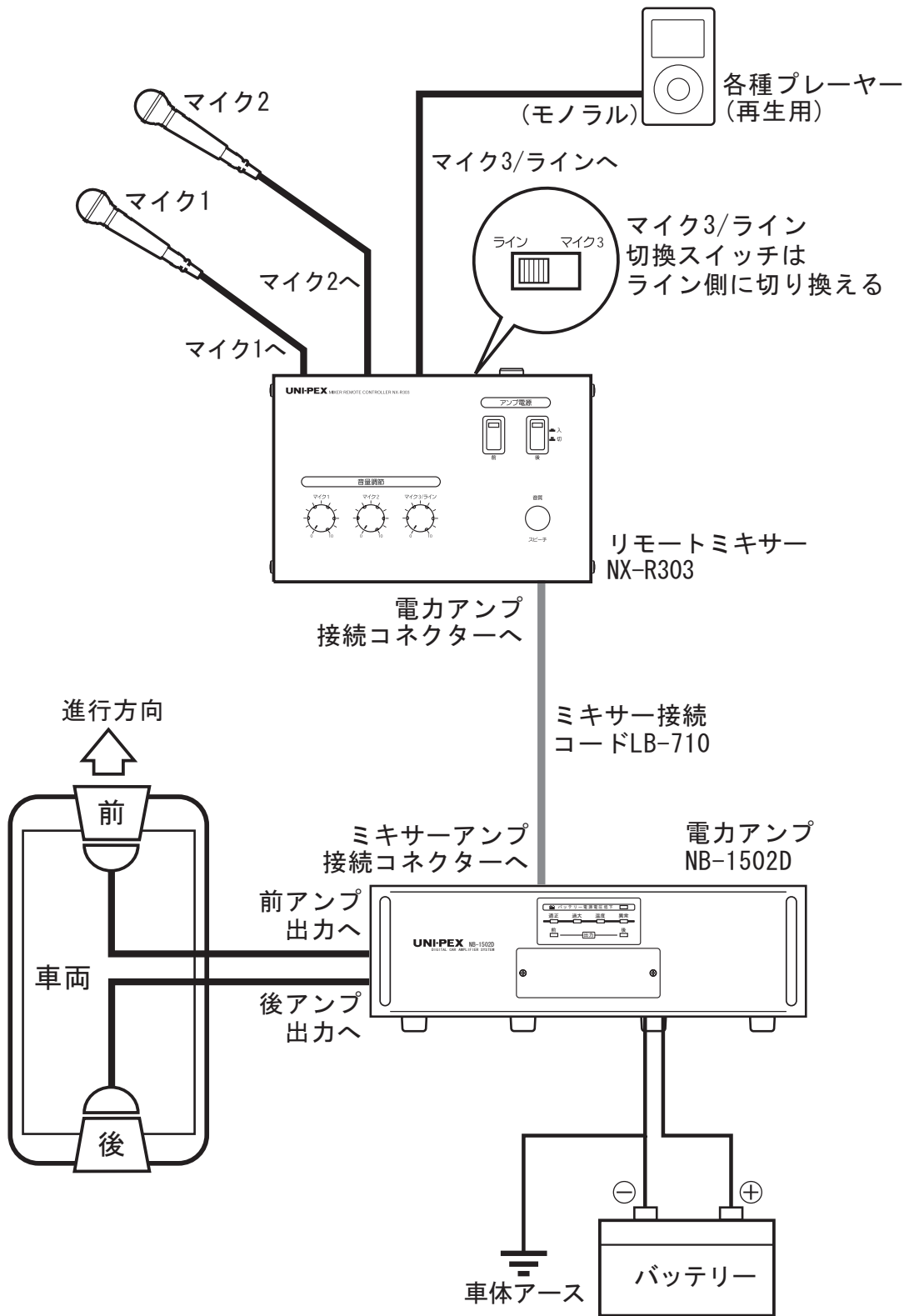
注) 車種により取り付けられない場合があります。

警告 エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に配線しない、取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

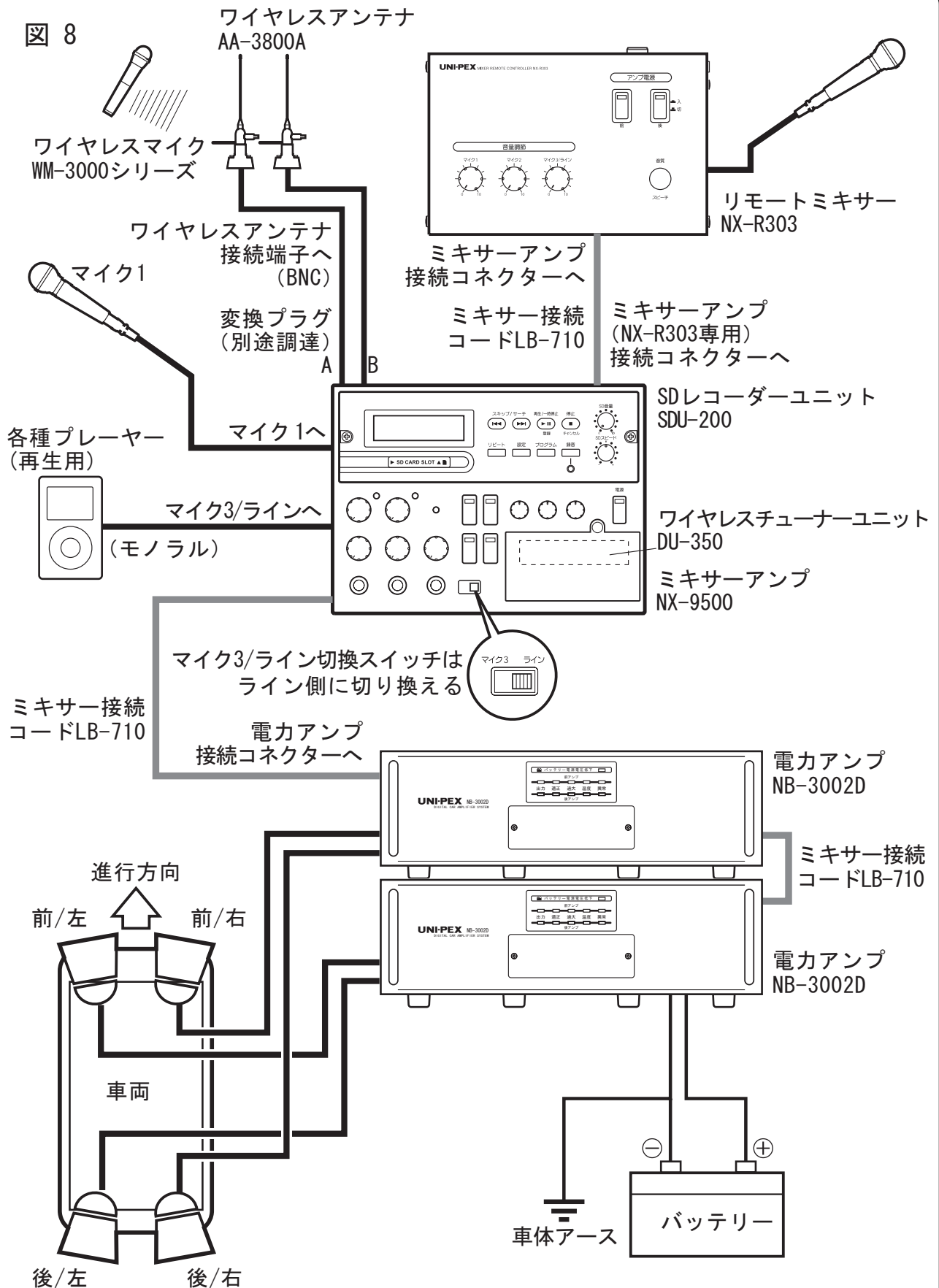
相互接続図(メインミキサーアンプとしての使用例)

図 7



相互接続図(サブミキサーアンプとしての使用例)

図 8



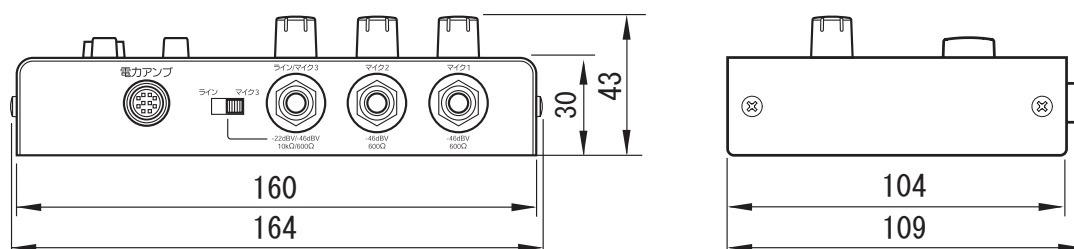
携帯電話の使用について

- 本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になることがあります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

定格

使用電源	DC 10V~32V(標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用(電力アンプより受電)
消費電流	30mA以下
定格出力	0dBV ±3dB
出力負荷インピーダンス	600Ω 平衡(専用プラグ付コードにて電力アンプと接続)
ひずみ率	1%以下
周波数特性	200Hz~10kHz ±3dB (1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	マイク 1 : 約-46dBV 600Ω 電子平衡 音量調節器付 マイク 2 : 約-46dBV 600Ω 電子平衡 音量調節器付 マイク3 / ライン: -46dBV 600Ω / -22dBV 10kΩ 電子平衡 音量調節器付(切換SW付)
音質調節	2ポジション切換可 1. フラット 2. スピーチ 200Hzに於いて-6dB、10kHzに於いて-10dB
信号対雑音比	60dB以上
動作表示	電力アンプ電源表示:発光ダイオード 緑(前後各1)
付帯機能	2系統制御可
使用温度範囲	-20°C~+60°C
外形装	鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法	幅164mm 高さ43mm 奥行109mm
質量	約500g
付属品	取扱説明書(保証書付)1、両面テープ 1

外観寸法図 (単位:mm)



製造元 日本電音株式会社

発売元 ユニパック株式会社